幼稚園児ママ（2007年／首都圏・全国）「パパの育児参加」 アンケートサマリー

調査期間 ：(A) 2007年6月、(B) 2007年9月実施
調査方法 ：(A) 園児とママの情報誌「あんふぁん」2007年7月号誌面アンケート、 (B) 2007年9月・10月合併号誌面アンケート調査 ／集計数 ： (A) 267人、 (B) 500人／ (A) 首都圏の私立幼稚園児をもつ既婚男性 (B) 全国の私立幼稚園児をもつ既婚女性

9割近くのパパが育児参加
「ママの2〜3割」というパパの意識にママも納得

パパの育児参加割合を、パパ、ママそれぞれに聞いてみたところ、9割近くのパパが「ママの2〜3割程度」以上は育児に参加していると回答し、「ほとんどしていない」と回答したのはわずか1割強であった。最も多かったのは「ママの2〜3割程度」という回答で、6割近く。**(グラフ①)**

一方、同内容の質問に対するママの答えは「全く参加していない」が3.2%とごくわずかで、「ママの3〜4割程度」が30.3%とボリュームゾーンとなっている **(グラフ②)** 。多少の差は見られるが、パパの育児参加割合についてパパとママの感覚にズレは見られない。

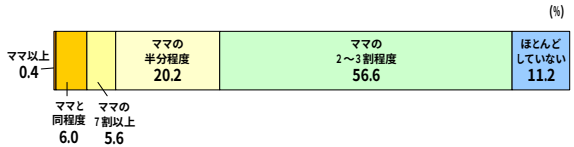
運動会、入園式はパパも積極的に参加

園児パパがもっともよく参加すると回答した幼稚園の行事は「運動会」で85.8%。次いで「入園式」83.9 %、「参観日」70.4%が続く。 **(グラフ③)**
「保護者会」や「個人面談」などは平日に実施する園が多いためか、参加しているパパはかなり少ない。

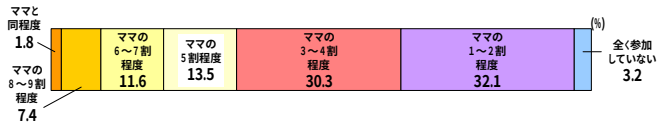
＜調査概要＞
● (A) パパ　2007年6月実施の「あんふぁん」2007年7月号誌面アンケート調査の回答から、267件を集計。 (B) ママ　2007年9月実施の「あんふぁん」2007年9月・10月合併号誌面アンケート調査の回答から、500件を集計。

＜調査実施＞あんふぁん

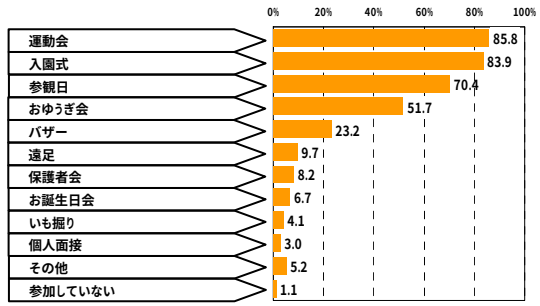
グラフ①　パパは育児にどのくらい参加していると思っていますか？（パパ自身の回答） （全体n＝267）



グラフ②　パパは育児にどのくらい参加していると思っていますか？（ママの回答） （全体n＝498）



グラフ③　幼稚園のどんな行事に参加していますか？（パパ自身による回答） （全体n＝267）



園児とママの情報誌「あんふぁん」　私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。
（あんふぁんサイト　http://www.enfant.ne.jp/ ）

リビングくらしHOW研究所　女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。
ウェブサイト　http://www.kurashihow.co.jp
問い合わせ　TEL03-5216-9420　FAX03-5216-9430

Copyright© 2008 LIVING KurashiHOW Institute All rights reserved.

幼稚園児ママ（2007年／首都圏・全国）「パパの育児参加」 アンケートサマリー

調査期間 ：(A) 2007年6月、(B) 2007年9月実施
調査方法 ：(A) 園児とママの情報誌「あんふぁん」2007年7月号誌面アンケート、(B) 2007年9月・10月合併号誌面アンケート調査 ／集計数 ：(A) 267人、(B) 500人／ (A) 首都圏の私立幼稚園児をもつ既婚男性 (B) 全国の私立幼稚園児をもつ既婚女性

レジャー、遊びはパパも参加 お風呂もパパと一緒に

パパの育児参加内容で最も多いのは「レジャーに連れて行く」92.9%。次いで、「一緒に遊ぶ」92.1%。以下、「一緒にお風呂に入る」が83.1%で続く。**(グラフ④)**

2006年と比較して、順位の変動は、ほぼ見られない。「勉強を教える」パパは2006年の26.5%比べて、2007年は34.8%と、若干ではあるが増えている。

また、ママから見たパパの育児参加内容も同様の順位であるが、全体的にパパの自己採点スコアが高くなっている。**(グラフ⑤)**

パパの得意ジャンルは遊び、特に外で体を使う遊びはお手の物

育児において、パパがママより得意なものは「遊び」が圧倒的。中でも体を使った外遊びがパパの得意ジャンルで、2006年と傾向は変わらない。次いで「お風呂」「料理」などが続く。**(グラフ⑥)**

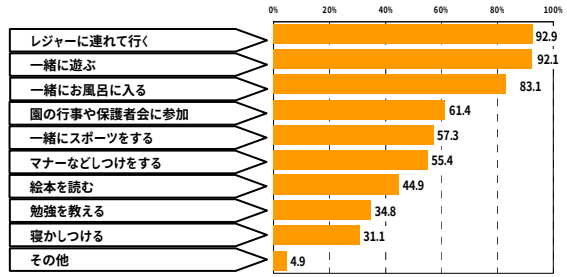
やはりダイナミックな遊びはママよりもパパの出番、といったところか。

＜調査概要＞

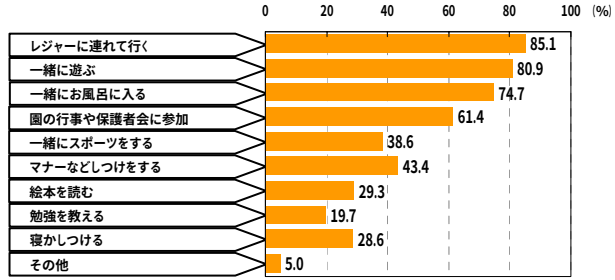
● (A) パパ　2007年6月実施の「あんふぁん」2007年7月号誌面アンケート調査の回答から、267件を集計。 (B) ママ　2007年9月実施の「あんふぁん」2007年9月・10月合併号誌面アンケート調査の回答から、500件を集計。

＜調査実施＞あんふぁん

グラフ④ パパの育児参加内容は？（パパ自身による複数回答） (全体n＝267)



グラフ⑤ パパの育児参加内容は？（ママによる複数回答） (全体n＝482)



グラフ⑥ パパが育児で「コレはママより得意だ！」というもの（自由回答をコード化）

順位	ママより得意なもの	件数
1	遊ぶ	55
2	体を使って遊ぶ	49
3	外で遊ぶ	32
4	お風呂に入れる	31
5	料理を作る	19
6	スポーツ	17
7	アウトドア	14
7	家事をする	14
7	ほめる、あやす、笑わせる	14
10	勉強を見てあげる	12
11	しつける	11
11	寝かしつける	11
13	歯磨きなどの世話	7
14	工作、お絵かき等をする	6
15	精神面	5
16	抱っこをする	3
16	自転車の乗り方を教える	3
16	音楽	3
16	日曜大工、修理	3
20	車などの運転	2
20	本を読み聞かせる	2
20	散髪する	2
20	植物の世話	2
20	子供との会話	2
	その他	3
	特になし	29

園児とママの情報誌「あんふぁん」　私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。
（あんふぁんサイト　http://www.enfant.ne.jp/ ）

リビングくらしHOW研究所　女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。
ウェブサイト　http://www.kurashihow.co.jp
問い合わせ　TEL03-5216-9420　FAX03-5216-9430

Copyright© 2008 LIVING KurashiHOW Institute All rights reserved.

調査期間 ：(A) 2007年6月、(C) 2007年10月実施
調査方法 ：(A) 園児とママの情報誌「あんふぁん」2007年7月号誌面アンケート、(C) 「あんふぁん」読者への郵送アンケート調査 ／集計数 ： (A) 267人、(C) 500人／ (A) 首都圏の私立幼稚園児をもつ既婚男性 (C) 首都圏の私立幼稚園児をもつ既婚女性

子育てにもっと参加したいパパが多数
自己採点は56点。ママの評価は65点

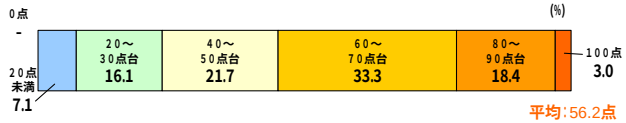
パパに自身の育児参加に対する意識は「もっと参加するため日々努力している」という人が20.6%、「もっと参加したいが忙しくてこれ以上無理」という人が58.8%となっており、育児に参加したい、という意識を持っているパパが比較的多い（**グラフ⑦**）。
しかし、“もっと参加しなくては！”とは考えるものの、現状の参加率で精一杯である、というパパが多数派である。

パパの子育て貢献度(100点満点)を聞いてみると、パパ自身の自己採点では平均56点であった。最も回答が多かったのは「60～70点台(33.3%)」で、「100点満点中半分の50点よりは上」と考えているパパが多い。（**グラフ⑧**）

一方、ママにもパパの採点をしてもらったところ、平均で65点とパパの自己採点を上回った。（**グラフ⑨**）
忙しくて思うように子育てに参加できていないと考えているパパが多い一方で、ママの採点が高かったのは、パパの「参加しよう」という意識を評価した結果ではないか。

グラフ⑦ 育児参加意識（パパ自身の回答） （全体n＝267）

グラフ⑧ パパの子育て貢献度を100点満点で採点すると、何点ですか？（パパ自身による回答）
（全体n＝267）



グラフ⑨ パパの子育て貢献度を100点満点で採点すると、何点ですか？（ママによる回答）
（全体n＝482）

＜調査概要＞

● (A) パパ　2007年6月実施の「あんふぁん」2007年7月号誌面アンケート調査の回答から、267件を集計。 (C) ママ　2007年10月実施の「あんふぁん」読者への郵送アンケート調査の回答から、500件を集計。

＜調査実施＞あんふぁん

園児とママの情報誌「あんふぁん」　私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。
（あんふぁんサイト　http://www.enfant.ne.jp/ ）

リビングくらしHOW研究所　女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。
ウェブサイト　http://www.kurashihow.co.jp
問い合わせ　TEL03-5216-9420　FAX03-5216-9430

Copyright© 2008 LIVING KurashiHOW Institute All rights reserved.